

令和7年度 京都市立九条塔南小学校 学校だより

九条塔南



学校アンケート

結果号(後期)

令和 8 年 3 月 1 9 日

京都市立九条塔南小学校

校長 石原 通雄

～後期学校アンケートの結果をふまえて～

冬休み前に①児童②保護者③教職員に、学校教育に関するアンケートを行いました。今年度は内容項目を三者とも同じものにし、より分析、比較しやすいように実施をしています。各項目の詳しい結果はホームページ内にありますので、ご参照ください。

回答率は、児童は250人中全員回答、保護者は250人中172人回答(69%)でした。アンケート結果をまとめましたので、ご報告いたします。

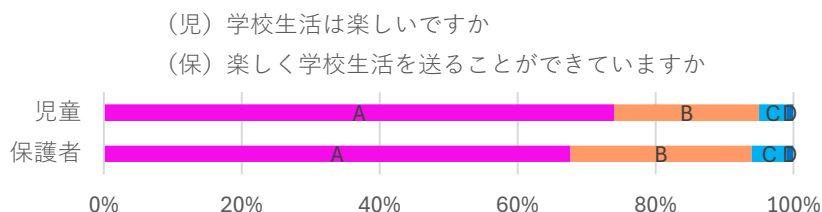
楽しい学校づくりをみんなで

前期のアンケートでも、「学校は楽しいですか」というアンケートに対し、多くの児童が「楽しい」と答えていました。一方で「あまり楽しくない」と答えていた児童もいたのですが、後期のアンケートでは、ほとんどの児童が「楽しい」と答えています。学校として、まずは安心して学校生活を送ることが大切だと考え、学校生活のルールを分かりやすく掲げたり、いじめを絶対に許さない姿勢、指導を行ったりしてきました。



今年度の運動会の様子

色別対抗種目や高学年を中心とした係活動など

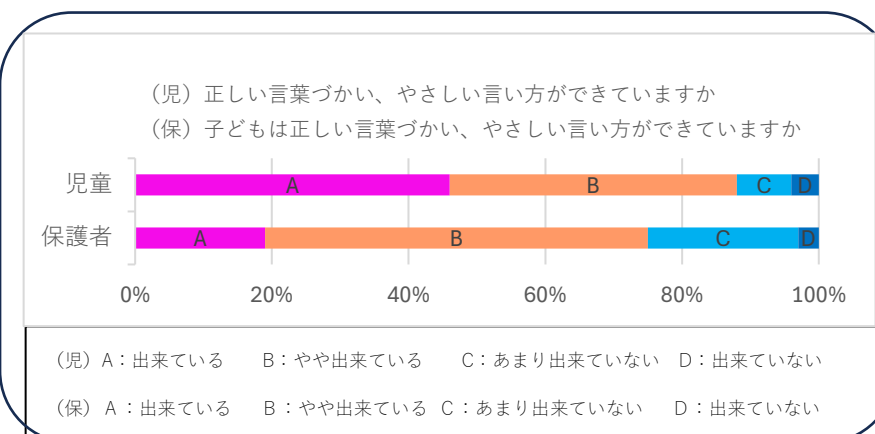


(児) A: とても楽しい B: 楽しい C: あまり楽しくない D: 楽しくない

(保) A: 出来ている B: やや出来ている C: やや出来ていない D: 出来ていない

今年度の新たな取組として行ってきた「ロング昼休み」も、だんだんと定着してきました。友だちの輪が広がったり、安心できる居場所が増えたりしたことも、アンケート結果として「楽しい」につながったと考えています。特に2学期には、運動会という大きな行事がありました。学年で、色ごとに、みんなで一丸となって協力することの楽しさや達成感を十分に味わえたのではないかと思います。今年度の取り組みの中で良かったところは継続しながら、改善できるところは修正しながら、来年度に向けてさらに子どもを中心に置いた学校づくりに尽力をつくしたいと思います。

正しい言葉を使える人に



本校では、学校生活のルールとして「5つのあ」を掲げています。子どもたちは、①あいさつ②あとかたづけ③ありがとう④あんぜん⑤あったかくを意識して頑張っています。

しかしながら、本校の児童を見ると、言葉づかいに課題がある場面をよく見かけます。保護者の方のアンケート結果を見ても、言

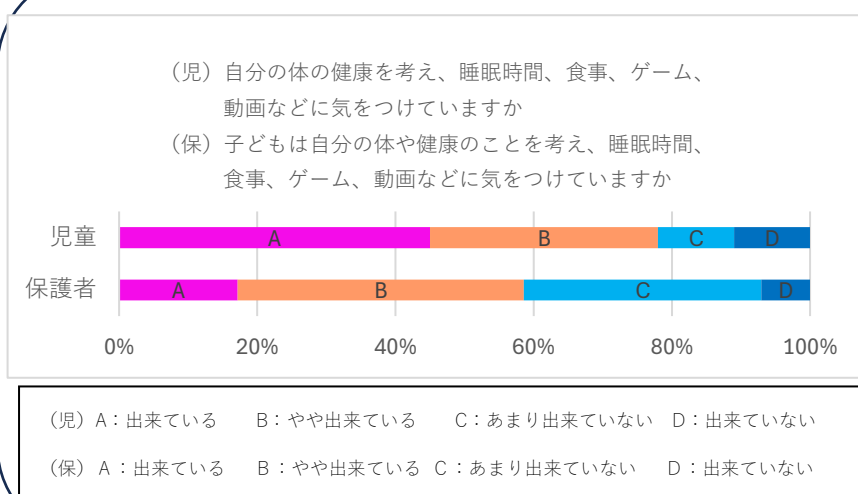
葉づかいに課題を感じておられることが見てとれます。きっとご家庭でも、言葉づかいについて注意をしてくださったり、心配されたりしておられることかと思えます。学校としては、まずは、身近にいる大人がお手本となるような正しい言葉を使い、接していくことが大切だと考えています。そして、道徳科の学習や学活の取り組みなどで、正しい言葉づかいとは何かを学習したり、相手のことを想った言葉づかいとは何かをみんなで考えたりすることも大事だと思います。日々の繰り返しにはなりますが、根気よく続けていくことが求められていると感じます。



道徳科を中心とした授業研修会

生活リズムを整えること

アンケート項目の中でも特に目立っていたのは、「生活リズム」についての回答結果の低さです。成長期の児童にとって、食事や睡眠の大切さは承知のことだと思います。しかし、動画やゲームなどを一度始めると時間が過ぎてもやめられないことを子どもたちは分かっています。結果的に就寝時刻が遅くなる→朝が起きられない→朝ごはんを食べずに登校するという流れになっていることが多いです。合わせて、遅刻者も多いです。本校では8時20分までの登校としていますが、朝読書の時間に来る子どもたちが多いです。一日の良いスタートを切るためにも、生活リズムを整えることが大切だと思います。



幼稚園・保育園とのつながりの活性化を

「かけはしプログラム」という幼・保・小の連携を目指した取組を進めています。本校では、これまで行っていた取組を中心に、さらに「つながる」ことを意識して進めてきました。行事（運動会の見学、避難訓練の参加）はもちろん、施設（空き教室や図書室など）の開放や教職員による研修計画などを取り組んできました。令和8年度に入学する新1年生も、何度も小学校に来ているためか、リラックスをして就学時健康診断や入学体験などに参加してくれました。来年度はさらにレベルアップをし、より柔軟な教育計画を進めていきたいと思えます。



学校運営協議会にて理事の方々にアンケート結果を報告しました。以下、いただいた評価になります。

- ・登下校だけでなく、地域で会ったときもあいさつをしてくれる。
- ・学校の先生はよくがんばってくれている。
- ・読書については図書ボランティアなど積極的に協力していきたい。
- ・地域の人材をもっと活用してほしい。授業で子どもたちとつながってきたい。
- ・子どもたちをもっと大きな視点で見ることが大切になってくると感じる。

児童、保護者ともに分析したアンケート結果やコメントは、全ての教職員が見ております。ご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動、学校づくりに生かしてまいります。

また、保護者の方からは、ありがたいコメントもたくさんいただきました。一方、来年度に向けたご意見などもありました。来年度のことについては、教職員と話し合いながら、子どもたちのためにしっかりと考えていきたいと思えます。

アンケートにご協力いただいた皆様、本当に貴重なご意見をありがとうございました。

